

むこう...ふあみさぼ

今年も向日市まつりに参加します!

平成18年からファミリーサポートセンターとして展示ブースを1箇所運営し、今年で5回目となりました。市民の方にひろくファミサポのことを知っていただけるよう援助会員とともに楽しいブース運営をこころがけています。お立ち寄りをお待ちしています。

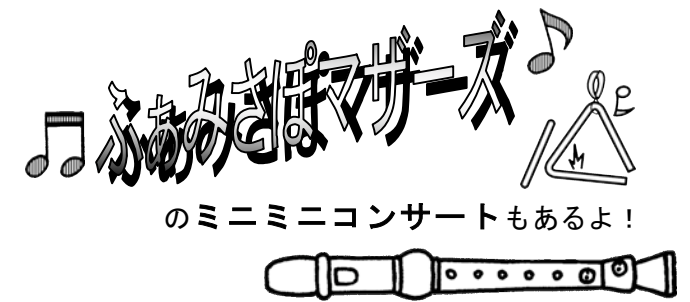
11月20日、21日 向日市駅前



ふあみさぼマンも待ってるよ!

てづくりあそび

牛乳パックをつかって0歳児から小学生までのしめるおもちゃをつくれます。



のミニミニコンサートもあるよ!

ふあみさぼ たまたま箱

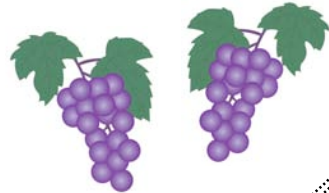
パワフル! 京都府下ファミリーサポートセンター

~横のつながりも深まっています。~

国の少子化対策の一環として事業展開されているファミリーサポートセンターは全国津々浦々600カ所設置されています。その中で、京都府下のファミリーサポートセンターはアドバイザーが集い研修を行っています。今年度は向日市が開催当番市であり11月開催に向けて準備を進めています。参加市町は北より京丹後市、舞鶴市、福知山市、南丹市、亀岡市、京都市、長岡京市、久御山町、宇治市、宇治田原町、城陽市、京田辺市です。開設年度はまちまちで運営も市が直轄のところ社会福祉協議会やNPO法人に委託されているところなどさまざまです。京都市は児童館連盟が運営されています。

研修内容は主に情報交換で援助活動依頼時の留意点や具体的事例をだしての検証、交流会の持ち方、会員募集方法等毎回活発に意見が出されます。それぞれの実施されている事業は地域柄でさまざまですがどの市も子育て支援事業に熱心に取り組んでおられ大変刺激されます。他市が工夫されている点などを参考にさせていただきます。

年に1回のことですがアドバイザー同士も顔見知りとなり日常互いに連絡を取り合いながら業務をすすめています。今後とも安心して快適に子育てができる環境づくりができることを願っています。



まねがい

◎催しの開催案内について◎

今年度後期にはあと3回の交流会実施を予定しています。毎月1日発行の「広報むこう」と向日市役所のホームページに掲載していますのでどうぞご確認ください。お仕事をされている依頼会員さんにはなかなか都合がつきにくいかもしれませんが援助会員さんと気軽に知り合える場でもあります。そのときに出会った方に援助活動を依頼することもできますので、ぜひ多数のご参加をお待ちしています。

向日市役所ホームページ <http://www.city.muko.kyoto.jp/>

編集後記

むこうふあみさぼ第15号をお届けします。連日の酷暑、熱中症予防の対策などとともに、子どもをめぐる酷いニュースもとりわけ耳に入ってきたひと夏でした。報道を目に、耳にするたび、子どもを育てる喜びを分かち合える人や子どもの成長のあしあとと一緒に確かめることのできる存在が身近にいなかったのだろうかと思いが痛む思いです。『ひさしぶりね。大きくなったね。』『よく笑うようになったね。』日常の中のそんなささやかなひとことが子育て期のママたちの大きな応援になるかもしれません。通りで出会えば話せるような間柄づくりをファミサポも担っていき“地域でつながる力”をいっそう深めていきたいと思えます。秋の澄んだ青空のように子どもの笑顔がひとときわ輝きますように!

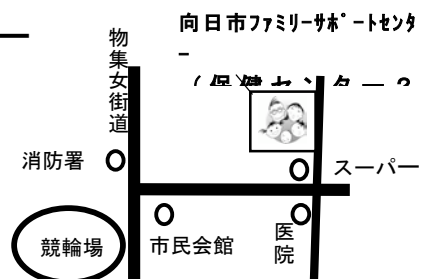
向日市ファミリーサポートセンター

〒617-0002

向日市寺戸町東野辺 31

保健センター2階

TEL・FAX (075) 932-783



平成22年度 前期事業報告

ふあみさぽ 交流会

第1回 つくってみよう！わんわんバイク

4月23日(金) 子育て支援センターで使用しているてづくり乗り物おもちゃ『わんわんバイク』を牛乳パックを使って作りました。普段遊んでいるおもちゃが作れるとあって、あっという間に申し込みが定員に達し、会員・会員外の方、32名の参加がありました。

3~4人のグループに分かれて協力して楽しく完成させました。子どもたちも目の前でおかさんが作ってくれたおもちゃに大喜びでさっそく乗って遊んでいました。



第2回 のばしてスッキリ！からだほぐし

8月10日(火) 今年で3回目となる整体師・橋本 寛子さんのご指導でした。毎年好評で今年も会場いっぱいの満員となりました。わかりやすい説明とゆったりとした動きで心もからだもほぐすことができ、みなさんすっきりとしたよい表情になりました。

自分ではなかなか身体をほぐすことが難しいですが、家でも続けてやっていきたいという感想が多数寄せられました。



第3回 子どもの病気と事故のおはなし

9月28日(火) 保健センターを飛び出での出張交流会を寺戸公民館で行いました。

大勢の親子さんと会員さんと、向日市子育て支援課保健師 柴田 晶子さんによるお話を聞きました。子どもの発育に絡んだ事故の事例や対処法を聞き、子育て中に気をつけるポイントがわかったと感想が寄せられました。

また、ふれあい遊びを通して大人も子どもも赤ちゃんも楽しく交流でき、有意義なひとときとなりました。



子育てサポーターフォローアップ講座 9月10日(金)

猛暑の続く中、今年度援助会員になられた方8名、現援助会員8名の合計16名の参加により開催しました。半数以上の方が2回目以上の受講で実技もスムーズにこなされ繰り返しの実践の大切さを感じられました。救急隊の方にみなさん熱心に質問をされ、臆することなく緊急事態に備えようという姿が見られ良い講座となりました。

『体が水に濡れているときは？』『大怪我をしている人だったら？』…質問が次々に飛び交います



赤ちゃんの場合の心肺蘇生法も実習しました。

平成22年度 子育てサポーター養成講座を終えて

6月18日・25日・7月6日・9日(全4日)

受講者の感想より...

◎我が子の子育てを振り返り新たな発見や反省になりました。これから地域の中で他のお子さんを見守るお手伝いのできたらと希望しました。



◎孫もいるので実感として良く理解できるところが多くありました。これからのサポートにも理解して接していけたらと思います。



◎『子どもの遊び』講座で教わったマジックやびっくり箱、パズル等、家で子どもといっしょに作り遊ばせていただきました。お友達もみんな大喜びでした。



◎本や雑誌で読んで食事の大切さや年齢の違いの特徴をわかっていたつもりだが講座を通じて人から直接話してもらうことでより深く理解でき共感することが出来た。



◎現在3人の子育て中なのですぐにでも実践、活用できる内容でした。



◎ボランティアとして生かせることができればと思っています。



◎全ての講座において本当にきてよかったと思うものばかりでした。



◎同じ子育て中の母親としていろんな形で協力していきたいです。



◎受講するまでこんなにたくさんの方が希望されているとは！熱心な方がこんなにいらっしゃるのにびっくり。一緒にいろんなことにチャレンジしていきたいと思います。



今年度は日程を分散させて、援助会員登録だけを受講の目的とせず、子育て全般について学ぶことを希望する方も広く募集しました。受講申し込み者28名でスタートし、子育てに関心のある方、ボランティアに興味のある方、子育て・孫育てに活かしたい方が揃って学びました。4日間とも熱心に講座に取り組み、無事5つのカリキュラムを修了されました。子育てを支えあう“つながり”を今後も深めていきたいです。

また今年度から全講座を保育付きで開催することができました。保育の担当はもちろん先輩援助会員さんです。お母さん方が受講の間、なごやかな雰囲気でも過ごしました。

◎◎◎ 援助会員の新しい仲間18名が誕生です！ ◎◎◎